

## Library Information

## 図書室からのお知らせ

## ■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

● 図書室の利用や、図書の検索・クエストなどについてのお問い合わせ先  
町生涯学習センター図書室  
☎096-234-2447 (内線331)  
✉klg110@town.kosa.lg.jp

人生を賭けた願いが謎を呼び起こす  
米澤 穂信著 / 『満願』

新潮社  
小説

人をあやめ、静かに刑期を終えた妻の本当の動機とは…。驚愕(きょうがく)の結末で唸(うな)らせる表題作はじめ、交番勤務の警官や在外ビジネスマン、フリーライターなど、切実に生きる人々が遭遇する6つの奇妙な事件。普通の人々のありふれた日常、その奥に潜む「人間の本当の怖さ」が、見事に描かれたおすすめの本1冊です。

## 既存の昔話とは違ったおもしろさはせがわ かこ作 / 『こぞうさんとおぼけ』



大日本図書  
児童書

おしょうさまは、こんやはかえらない。どうしよう、おしっこ！でも、もうがまんできない。そこには、あやしいかげ。やみにひかる目。あわてて本堂に逃げかえるが、そのあとこぞうさんにたいへんなことが…。おぼけが怖くてしかたがないこぞうさんの、くるくるかわる顔の表情がとっても楽しい1冊。夏の読み聞かせにおすすめです。

好奇心の羅針盤に従い、大航海へ  
ビートたけし著 / 『たけしのグレートジャーニー』

新潮社  
一般書

アフリカから南米へ。今から4万年前、人類は「ここではないどこか」を求め、「グレートジャーニー」に旅立った。その旅を逆向きにたどり、シロアリからダイオウイカ、地下200メートルから宇宙まで、知の冒険家11人と著者が縦横無尽に語り尽くす白熱対話の旅。豊富な知識と経験、新たな視点で語られる話にワクワクする1冊です。

熊本独特の「あるある」を大放し  
木山 直子作 / 『熊本あるある』

TO ブックス  
教養娯楽

熊本の常識から、街ネタ、グルメ、方言、カルチャー、スポーツまで、ご当地ネタ満載。「太平燕(タイピーエン)は、全国の食べ物だと思っている」「たいがいのことは“よかたい、よかたい”でほぼ解決する」「驚いたとき、“ぱっ！”と言う」など。熊本県民気質といえ、もっとくすとわきもん。火の国の熱い魅力たっぷりの1冊です。

## 町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人3冊まで、8日間

この本は、新米の臨床心理士の美帆が初めて受け持つことになった福祉施設にいる20歳の青年・司と彼の身近で起きた少女の死を巡るミステリーのお話です。

司の「人の心が色で見える」という特殊能力を生かして、事件の真相を美帆と同級生の警官、司と3人で突き止めていきます。

調査を重ね、真相へと近づいていくと、次々と醜い事実が見えてきます。そこには、「人」へのこだわりを感じさせる臨床心理士の

## 今月の案内人



森田 光樹子さん  
(岩下二区)

## ～ My Favorite Story ～

## 私のおすすめ図書

『臨床真理』(袖月 裕子著)

新進気鋭の臨床心理士・佐久間美帆と、「共感覚」を持つ青年・藤木司が、声の色で感情を読み取る力を使い、施設で起こった少女の自殺の真相を追う。

言葉のやり取り、警官の真実を見抜く冷静さ、青年の心の色と人間の感情がさまざまな形で表わされていく個所がいくつも興味をひきました。

また、この本の著者の作品には、この本とつながりがある『検事の本懐』『検事の致命』『最後の証人』などシリーズがあり、続けて読むと何らかの関係性があり、一気に読んでしまう小説です。



あなたの身近に心の色が見える人がいたとしたら…。あなたは想像できますか。

● あなたの「おすすめ図書」をご紹介してみませんか？  
町生涯学習センター図書室  
☎096-234-2447(内線331)  
✉klg110@town.kosa.lg.jp